

【健康福祉学部】

◎健康栄養学科の3つの方針

《健康福祉学部健康栄養学科がめざす人間像》

広い視点にたって、健康と栄養を科学的に思考し、栄養科学の実践的知識と技術を身につけ、健康と福祉に貢献する人間性豊かな人

学位授与方針（ディプロマポリシー）

[知識・理解]

- ・管理栄養士・栄養士としての専門分野の学問内容の知識を修得している。
- ・豊かな人間性と社会性を兼ね備えた幅広い教養を身につけている。

[思考・判断]

- ・食や健康に関わる問題に対して、科学的根拠に基づき問題を発見し、解決策を提案できる思考力と問題解決に向けた行動をとることができる。

[関心・意欲]

- ・科学の進歩および保健・医療・福祉などの社会ニーズの変化に対応し、生涯を通して知識・技能を高めることができる。

[態度]

- ・食の専門家としての意識、責任感やコミュニケーション能力を備えている。

[技能・表現]

- ・よりよい健康状態の実現を目指し、個人または集団に対し、教育することができる。
- ・地域住民や患者・家族、保健・医療・福祉に関わる多領域の人々と連携し、協働することができる。

教育課程方針（カリキュラムポリシー）

- ・専門科目への導入科目として、「健康栄養学概論」、「化学」、「有機化学」などの学部・学科基幹科目を設置する。
- ・管理栄養士に必要な専門基礎分野と専門分野の専門科目を系統的、段階的に配置して、理解しやすい授業を展開する。
- ・管理栄養士として必要な専門知識と技術を深めるため、実験・実習を効果的に配置する。
- ・専門的な知識や技術を統合し、論理的思考能力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を養うため、「総合演習」、「臨地実習」、「卒業研究・演習」を配置する。

入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

健康栄養学科では食を通じた健康づくりと疾病の予防や治療に情熱をもって取り組む管理栄養士の育成を目的とし、次のような意欲、能力、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とする。

- ①健康や栄養に興味があり、食を通して、人類の健康づくりに寄与することを目指している人。
- ②大学教育の習得に必要な基礎学力を備えている人。
- ③人が好きで、相手の立場を思いやることができ、協調性のある人。
- ④向上心を持って行動できる人。

以上のような基本方針に基づき、健康栄養学科では管理栄養士国家試験受験資格や栄養教諭免許、その他の資格が取得できる基礎から応用まで様々な専門科目群を準備している。これらには単なる知識や技術の習得だけに終わらぬよう、現場を知るための臨地実習等が組み込まれている。これらを通して生物としての人間を理解し、健康や疾病と食事との関係を知り、その人に必要な料理をおいしく提供したいという思いを持っている学生を受け入れたいと考えている。

本学科への入学を希望する学生は、高等学校において基本とされる教科について高等学校卒業相当の知識を有していること、理科では「化学Ⅰ・生物Ⅰ・理科総合A・理科総合B」のうち1科目以上を履修していることが望ましい。また、課外活動やボランティアなどに積極的に取り組む姿勢も大切である。